

No. 1

意見・質問・要望等 後期高齢者医療特別会計の補正予算が提案されているが、議会でどんな論議がされたのか。民主党では廃止すると言っているが、なかなか実行されない。議会として早期に廃止されるよう論議されたのか。また、それについて要望書など出さないのか。【桜地区】

当日の回答 討論の中で共産党議員団は反対しています。意見書等を出していません。

今後の取組み [国における高齢者医療制度改革の動き]
 ①後期高齢者制度に係る政府方針「制度を廃止し、廃止後の新たな制度のあり方を検討する。」厚生労働大臣主宰の「高齢者医療制度改革会議」で検討中です。
 ②廃止に向けたスケジュール…平成22年末まで取りまとめを行い、平成23年春法案成立、平成25年4月から新しい高齢者医療制度の施行【回答:保険年金課】

No. 2

意見・質問・要望等 人口の増減を毎月見ているが、すごい勢いで人口が減っている。特に枝野は人口減少が進んでいる。お見合いパーティーや婚活、仲人養成するなど力をいれてほしい。いらっしゃいプランでお金をたくさん使うよりも、こういう活動にお金をかけて欲しい。出会いのチャンスを設けて欲しい。また、結婚しない人達に教育して欲しい。【枝野地区】

当日の回答 なかなか難しい問題です。西根地区では「田んぼアート」という事業の中で出会いの場を提供しているようです。30名くらいの方から参加申し込みをいただいたようです。田植え、ホテル観賞会、稲刈りを通じて出会いの場を提供するようですが、地元の方の参加よりも市外からの参加者が多いと聞いています。結婚問題については地道な活動が大切だと思います。

今後の取組み 現在の当市での結婚相談の対応については、宮城県青年会館の宮城青年交流センターの結婚相談事業を紹介させていただいております。当センターでは、「みやぎPISAシステム」という会員登録によるパートナーの紹介や「ジョイフルふれあいパーティー」という出会いの場の提供を行っています。参考までに、平成19年度と平成20年度に市内でそれぞれ1件の結婚成立がございました。【回答:生活環境課】

No. 3

意見・質問・要望等

【消費者110番制度について】

県などの上位団体の通知に関して、住民への周知が遅い。【角田地区】

当日の回答

もっと迅速に対応できるよう働きかけていく。

今後の取組み

国民生活センターでは、全国の消費生活センター等に全国共通の電話番号を設け、消費者がトラブル等に直面した際、この番号に電話をかけると身近な相談窓口へと繋がる「消費者ホットライン」を、1月12日より、実施しました。平成20年版国民生活白書によると、消費者被害に遭ったときの相談先について、どこにも相談していない人が約3割を占める一方、消費生活センターまたは国民生活センターに相談したとする人は、約14%にとどまっています。こうした現状を踏まえ、これまで消費生活相談を利用したことのない消費者も含め、誰もがより身近な相談窓口へアクセスしやすい環境を確立するため、全国の消費生活相談窓口などにつながる仕組みを構築することとしたものです。これらの制度の周知は、全国的にテレビ、ラジオ等のマスメディアで大々的に行われたうえに県の広報等でも行われました。その上、市でも独自に広報等で周知することを求めたご意見ですが、今後はご指摘のとおり迅速に対応いたします。【回答：生活環境課】

No. 4

意見・質問・要望等

国保税の値上げが将来心配されるが、病気にならない努力・工夫が大切と思う。もっとPRして、健康維持と病気にならないよう、医療費削減に市民みんなで取り組む必要があるのではないか。【北郷地区】

当日の回答

国保の基金も底をつきつつある中で、値上げが心配される。国の国庫支出金が減らされている現状で、今後、国の支出金を増やしていくよう働きかけていく必要があります。生活習慣病予防に心掛け、健康診断を受診していく必要があります。

今後の取組み

高齢化の急速な進展に伴い、疾病構造も変化し、疾病全体に占めるがんや脳卒中、心臓疾患等生活習慣病の占める割合が増加し、死亡原因も生活習慣病が約6割を占め、医療費に占める生活習慣病の割合も医療費全体の約3分の1となっています。こうしたことから、生活習慣病の原因となるメタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の予防・解消を図り、重症化や合併症への進行を防ぐため、平成20年度から特定健康診査及び特定保健指導の実施が医療保険者に義務付けられました。□角田市においても同年4月に「特定健康診査等実施計画」を策定し、目標を平成24年度までで特定健診受診率を65%、特定保健指導実施率を45%と設定し、一人でも多くの方が生活習慣病にならないよう受診勧奨や受診結果に沿った保健指導、健康教育、健康相談を実施し、医療費抑制につながるよう取り組んでおります。

平成22年度は、従来の集団健診に加え、かかりつけの医療機関でも受診できる個別健診を取り入れ、更なる受診率の向上を目指しています。□また、がん対策として、胃がんや肺がん等各種がん検診を実施し早期発見・早期治療に努めることにより医療費抑制に取り組んでいます。【回答：健康推進課】

No. 5

意見・質問・要望等

①4月から仙南病院の小児科がなくなったが、その経緯はどうなったか。

②居住環境として、子育て世代は選択の基準として、専門の小児科がいることを考える。一方、いらっしやいプランを考えると逆行しているのではないか。これでは他市町村に移り住むことが心配だ。【北郷地区】

当日の回答

①仙南病院では、3日/週、東北大学より派遣。年間300万円程度の赤字となって、市に対し助成を要望したが、一つの病院だけに補助する訳にはいかないのとの理由で、続けることができなくなりました。

②地域医療の体制が徐々に衰退してきています。本間医院、高橋医院、中川医院、そして今回の仙南病院の小児科が廃止しています。市内には25人くらいの医師がいますが、70歳以上の方が半数を占めています。今後、10年過ぎたらどうなるのか心配です。現在、みやぎ県南中核病院で3人の小児医が常勤体制をしています。将来における地域医療体制をどうしていくのか第5次長期総合計画策定過程の中で、力点を置いて審査していきたいと思えます。

今後の取組み

平成21年11月の中川耳鼻咽喉科医院閉院、平成22年3月の仙南病院小児科廃止につきましては、角田市にとっても大変深刻な問題であります。現在、東北大学医学部附属病院やみやぎ県南中核病院、角田市医師会、友人・知人等あらゆる方面に働きかけ、医師の招聘に向けて努力をしているところです。しかし、全国的に医師不足が叫ばれている中、東北大学からは「最近の先生方は中央思考で、なかなか地方に行きたがらない。」との話もいただいております。早急な実現が困難な状況であります。今後とも、継続的に関係機関などに働きかけを行い、医師の招聘に向けて努力してまいります。□また、地域医療体制についてであります。現在、市内には医科の医療機関が13か所あり、第一線で診療に従事されている医師の多くは50代であります。□このような状況であります。角田市のみならず隣接市町や仙南圏域の中でも協議し、整備・充実に努めてまいりたいと考えております。【回答:健康推進課】

No. 6

意見・質問・要望等

介護問題について、介護が必要な家族を抱えていて大変である。
ショートステイ:3,500円/日
デイサービス:1,500円/日
少ない年金からでは何度も頼めない。将来を思うと、年金生活ではとてもやりきれない。介護する方も高齢で共倒れが目に見えてくる。老人介護施設をもっと増やして欲しい。【北郷地区】

当日の回答

重点事項の一つとして要望を受けます。角田市が許認可権を有する施設として、認知症グループホーム2ユニット18床の設置を計画しています。22年度中に設置できるよう進めています。特別養護老人ホームは県の認可となっています。

今後の取組み

第4期介護保険事業計画にあります、認知症高齢者グループホーム2ユニット(定員18名)の開設を平成22年度に予定しております。今後の施設整備についても、現在の角田市の介護保険の現状と課題を、市民へのアンケート調査を実施しながら早急に把握し、第5期介護保険事業計画策定の中で検討を行うこととしております。また、特別養護老人ホームの整備にあたっては入所者の居住費負担が増加しないよう、多床型等の整備も認めていただくよう県に働きかけて参ります。【回答:社会福祉課】

意見・質問・要望等

①認知症は角田で850人位いる。施設に入りたいと待機している人は631人いる。みどり荘でも94ベッド数があり、250人が待機している。聖母の家では120～130人の待機者がいる。角田市では老後をどう過ごしてほしいと思っているのか。介護にもっと力を入れて欲しい。

②20年来、妻を介護しているが、先日、自分自身が健康を害した。今後、そんな時にどこで受け入れてもらえるのか非常に不安である。市として考えて欲しい。

③槻木には今年、80床の受け入れができる。角田は18人のグループホームができるということだが、グループホームではなく、50～60人の施設受け入れ体制をとって欲しい。【桜地区】

当日の回答

①国でもますます高齢者化が加速しています。議会として声を上げていく必要があると思っています。要望として承ります。

②市として取り組んでいくべきと思っています。

③特養は、県が管轄であるが、県に訴えたり、議員としても力を入れて取り組んでいきたいと思えます。

今後の取組み

① 65歳以上の高齢者で認知症とされる人は850名で、介護認定を受けている1,400名中580名が認知症と診断されています。

●市内にある介護保険福祉施設の待機状況(H22.5.1現在)

みどり荘 定員94名 待機者数197名

聖母の家 定員50名 待機者数177名

●第4期介護保険事業計画において、今後柴田町に開設予定の80床の介護保険福祉施設については、10床ほどの角田市からの入所者を見込んでおります。

また、今後近隣市町村の介護保険福祉施設の整備によっては、角田市の施設に入所している他市町村の方が減少していくという状況もあり、将来的には角田市の各施設の入所定員の2割程度が増えるものと予測しております。

それでも、高齢者の増加により施設入所を希望する方が増え続けていくことは避けられない状況であり、今後予防サービスや在宅サービスの充実も含め、施設サービスについてもどの程度必要となっていくのか、指定を行う県とも協議をしながら対応していくこととしております。

□

② 高齢者の状況に応じいろいろなサービスがありますので、高齢者の総合相談を担当している地域包括支援センター(☎61-1288)へ一度ご相談ください。

□

③ 第4期介護保険事業計画にあります、認知症高齢者グループホーム2ユニット(定員18名)の開設を平成22年度に予定しております。

今後の施設整備についても、現在の角田市の介護保険の現状と課題を、市民へのアンケート調査を実施しながら早急に把握し、第5期介護保険事業計画策定の中で検討を行うこととしております。【回答：社会福祉課】

No. 8

意見・質問・要望等

- ①東根小学校校舎整備事業の件ですが、具体的にどのようなものでしょうか。
- ②子どもが少なくなるのですが、それでもつくるのですか。【東根地区】

当日の回答

- ①音楽室(特別教室)等を増築するそうです。
- ②必要な施設で、必要な教育を受けなければならないことになっていますので、特別教室の増築は必要です。

今後の取組み

- 確かに児童数は減少しているが、1学年から6学年まで最低6教室必要な状況には変わりません。東根小学校は、建築当初から6教室で整備し、その後の教育課程の変更により、パソコン室などの特別教室が少ない現状にあります。
- また、近年では、特別支援教育の考え方も変化し、できるだけ地域の学校で一緒に過ごせるよう配慮していることから、対象児童生徒数も増加傾向にあり、そのため特別支援教室の確保も必要となり、その分教室不足となっているものです。今回、パソコン室と音楽室の増築を想定しています。【回答:教育総務課】

No. 9

意見・質問・要望等

- ①小中学校耐震補強等事業の中で、東根小学校校舎耐震補強事業に1,040万円。東根小特別教室増築に1,000万円とあるが、これは適正なのか。
- ②少子化で桜小学校は空き教室があるが、東根小学校は空き教室はないのか。増築する必要はあるのか。東根小の児童数は何人か。
- ③こういった事業について、適正な見積りかなどチェックする機関はあるのか。国では厳しくチェックしている。【桜地区】

当日の回答

- ①積算基準をもとに算出しており、適正な価格です。
- ②空き教室があるか、教室の使い方はどうか、足りないから計上していると思うが、現地に行って確認する必要があると思う。東根小の児童数は80人前後かと思うが、なお確認します。
- ③市ではどのようなチェック体制になっているのか調査する必要があると思うが、議会の方では専門的知識を持ってチェックはしていません。

今後の取組み

- ①耐震補強等工事の設計委託事業として計上したもので、特に補強計画の構造計算や補強方法の第三者委員会の認定なども含むもので、工事实施前の重要な業務となっており、その専門性から外部に委託するもので、予算額は適正なものと考えています。
- ②確かに児童数は減少している(平成22年5月1日現在児童数 61名)が、1学年から6学年まで最低6教室必要な状況には変わりません。東根小学校は、建築当初から6教室で整備し、その後の教育課程の変更により、パソコン室などの特別教室が少ない現状にあります。
- また、近年では、特別支援教育の考え方も変化し、できるだけ地域の学校で一緒に過ごせるよう配慮していることから、対象児童生徒数も増加傾向にあり、そのため特別支援教室の確保も必要となり、その分教室不足となっているものです。【回答:教育総務課】

No. 10

意見・質問・要望等 耐震補強すれば、30年～40年位、校舎がもつと言われているが、非常に疑問である。金津中学校を改修するのではなく、角田中学校と金津中学校は統合できないのですか。子どもたちの事を考えると、統合した方が良いと思います。なぜならば、クラスの数が少ないと教員の数も減るので、免許外の教員の申請をして提出して教えなくてはならず、質が悪くなります。今後、古い校舎の耐震工事をするのではなく、子どもたちの事を考えて統合してほしい。【角田地区】

当日の回答 ●以前に耐震度調査を行ったところ、金津中学校と西根中学校は、建て替えとの診断でした。その後、耐震診断したら耐震補強工事をすれば良いとのことになりました。
●角田中学校と金津中学校の統合の話について、賛成する方は少ないと思いますし、時期早尚です。今後、少子化が更に進めば、その様なことになるかもしれません。財政が厳しいので、新築ができないのは確かです。

今後の取組み 平成17年9月に策定した「角田市立学校施設整備の将来構想」では、金津中学校の統合については触れておりません。【回答：教育総務課】

No. 11

意見・質問・要望等 教育委員会の中に教員の出身の方を配置してはどうでしょうか。教育課長のような方を置いてください。【角田地区】

当日の回答 要望として教育委員会に伝えます。

今後の取組み 非常勤職員とし1名の配置がありますが、ご要望の件については、今後検討いたします。【回答：教育総務課】

No. 12

意見・質問・要望等 前回の報告会で、自治センター職員の待遇改善について、要望しているが、その後はどうなっているか。【西根地区】

当日の回答 前回の要望については、自治センターに届けている。自治センターの職員の仕事の量の多さは理解している。一般質問でも出ているが、具体的対策が示されていないのが現状。自治センターは地域の拠点であり、大切な施設である。今後も、要望していくし、議会として踏み込んで検討していきたいと思います。

今後の取組み 協働のまちづくり関係の仕事が増えているようです。現在、自治センターのあり方を検討しているところですので、その中で検討して参ります。【回答：生涯学習課】

No. 13

意見・質問・要望等 総合体育館の人事体制は、スポーツを推進しようとするものではない。課長補佐と新人職員(非常勤)だけ、到底スポーツ振興できる人事(スポーツ経験者)とは思えないのが残念です。改善してほしい。【西根地区】

当日の回答 人事管理に関する問題は、当局に伝えます。

今後の取組み 担当係としては、職員2名、スポーツ指導員2名の体制でスポーツ振興の推進を行っておりますが、課題等への対応は生涯学習課をあげて対応して参ります。【回答：生涯学習課】

意見・質問・要望等

子ども図書館の図書は、小学校の図書室の図書と重複しないのか。
【角田地区】

当日の回答

絵本などを充実させ、読み聞かせができるおはなし室や読書コーナーなどを整備します。小さい時から本に親しめるよう未就学児向けの図書館にする計画です。

今後の取組み

子ども図書館は子どもたちが絵本と出会う場であることから、楽しみながら安心して本に接することができるよう、子どもの視点やペースにあわせた空間をデザインします。書架、テーブルなどの形状や配置はもとより、本の配列や展示などにも工夫を凝らします。蔵書数は絵本を中心に6000冊程度となる予定です。

絵本を手に取り、また読み聞かせを受けることにより、子どもたちは言葉を知り想像力を培います。また、親と子のみならず、親と親、読み聞かせボランティアなど多くの市民の間にふれあいや交流が生まれることにより、子どもたちがのびのびと成長できる環境がつくられていきますが、絵本を介した交流の場となるのが「おはなしのへや」であり、この意味で子ども図書館の中心的施設となります。

このほか読書用のテーブルやベンチシートなどを随所に配置し、気軽に快適に本と向き合うことができるようにします。併せて貸出・返却等の業務を行うコンピュータシステムやトレイ、冷暖房など必要な設備を整備します。

なお、子ども図書館の蔵書の中心は絵本であり、主たる利用者は未就学児です。他方学校図書館は学習資料や児童図書等が中心となります。各々の図書館が目的に沿った蔵書を整備することにより、子どもたちの読書活動が切れ目なく続くよう支援してまいります。【回答：生涯学習課】

No. 15

意見・質問・要望等

①どういう人達から子ども図書館の建設という話がでて、建設することになったのか。市民の声なのか。あそこは市民センターのなかでも一番いい場所なのに、なぜあそこに建てることになったのか。図書館の6割くらいが児童の図書なのに何が不足しているのか。なぜあの場所になったのか教えて下さい。

②市民センターの和室を使って庭の桜を眺めながら、ヨガの人達が集まって話をしている。それを切ってしまうのは大変残念でみんな反対しようと言っている。市民センター建設と関係はあるのですか。
【角田地区】

当日の回答

①図書館をつくって下さいという声は特にはないが、宝くじ協会から2500万円の補助があって予算がついたので、市長の公約でもあり、将来の子供たちのためにつくりたいと市長は考えています。市民の要望、子供たちの要望ではありません。せっかくいい場所なのに、なぜあそこにつくらなければならないのか。それより学校にもっと、もっと予算を増やした方がいいと思っています。6000万円もかけるより巡回図書館を増やした方がいいと思っています。

議会で議決はしましたが、これは市民の皆さんには認知されていないという事だと思います。この図書館の建設については、いろんなところで意見が出されているので、市長にこのことを伝えて再考していただきたいと思っています。桜を切らないで、もっといい場所を選んでつくってほしいと思っています。

②市民センター建設と図書館建設は連動していない、市民センターは当分建て替えの計画はありません。耐震補強でやっていく予定です。

今後の取組み

①子ども図書館整備の趣旨については先に申し上げたとおりです。なお、自然環境の保全に配慮しながら整備を進めてまいります。□市図書館の児童関係図書の蔵書割合は全体の約4割で、近隣の図書館と比較すれば少ない数ではありませんが、読書環境を整備し、図書選択の機会をより多く確保することは、子どもたちが本に親しむために大切な施策であると考えています。

□

②市民センターは、今後、耐震・改修について検討をしていく予定となっております。【回答：生涯学習課】

No. 16

意見・質問・要望等

子ども図書館について、小中学校の図書館利用者の実態はどうなっているのか。子ども図書館は教育委員会で決めているのか。各学校の図書館を整備した方が良いのではないのか、各学校に100万円の予算を付けた方が良い。実態をどう改善すれば良いのか考えているのか。【角田地区】

当日の回答

市長と教育委員会より提案されました。小さい時から本に親しめるよう未就学児向けです。学校についても充実させて行きたいと考えています。今年から各小中学校には図書館支援員2名を配置することになりました。

今後の取組み

図書館から遠隔地にある小学校に対する読書支援の一環として、図書館では移動図書館車「かしの木号」を運行しています。ここでは定評ある本のみならず新刊なども数多く揃え、子どもたちが多くの本に接することができるよう図ってきました。中学校に対しては、主に団体貸出により読書ニーズに応えています。

これまでも、子どもたちや担当の先生方の声を聞きながら運営に当たってきましたが、今回、新たに置かれた学校図書館支援員とも連携を図りながら、一層の充実を図ってまいります。【回答：生涯学習課】

No. 17

意見・質問・要望等

「子ども図書館」は市民センターの中に入れるべきだ。まちづくり懇談会で『市民文化会館を駅の周辺につくってほしい。』と要望した。子ども図書館を建設するのは、長い目で見たとき、角田市の発展につながるのか。付け足し付け足しの施設より、もっと良い方法があるのではないか。わざわざ、建設するよりも空き店舗を利用してあちこちに図書館を置けば、まちづくりの活性化につながるのでは。【横倉地区】

当日の回答

市民センターは老朽化がはなはだしいです。近い将来、市民センターは建て替えになるだろうと思います。図書館については、よりよい角田市にするために私たちも意見を出していきます。検討させていただきます。

今後の取組み

子どもの読書環境の充実を図るために施設整備を行うものですが、幼児教育をはじめ子育て支援への効果が期待されると存じます。□読む力は生きる力と言われる通り、読書はかけがえのない営みであり、子どもの読書環境の改善は重要なテーマです。その拠点として子ども図書館を整備します。また、絵本の読み聞かせを通して親子が親密な時間を共有することにより、子育て支援への効果も期待されます。□子ども図書館については、子どもたちの未来を思い描きながら長期的な視野に立って効果を考えるべきものであると思います。多くの蔵書の中から必要な本を選択できるところに図書館の意義があると思いますが、空き店舗の利用というご意見についても、ひとつのあり方だと思いますので、今後、検討していきたいと存じます。【回答:生涯学習課】

No. 18

意見・質問・要望等

学校図書蔵書数はどうなっているのか。子どもたちがどんな本を読みたいのか等実態を調べて、その要求に応えるよう要望したい。【北郷地区】

当日の回答

ご要望として承り、市当局に伝えます。

今後の取組み

学校図書の購入については、毎年度予算の範囲内で、各学校より購入希望をとり購入しています。各学校の蔵書数は、下記のとおりです(H22.4.1現在学校要覧より)

角田小学校	6,389冊	角田中学校	13,969冊
小田小学校	3,125冊	金津中学校	7,288冊
横倉小学校	3,861冊	北角田中学校	10,104冊
枝野小学校	3,323冊		
藤尾小学校	7,050冊		
東根小学校	5,236冊		
桜小学校	6,265冊		
北郷小学校	7,776冊		
西根小学校	7,882冊		

【回答:教育総務課】

No. 19

意見・質問・要望等

図書館支援員2名で市内の小中学校を回るの少ない。子供が本を読まない実態をつかんで欲しい。議員が各学校を回って調査しているのか。もっと現場の人員を増やしてほしい。【角田地区】

当日の回答

要望として承り、当局に伝えます。

今後の取組み

学校図書館支援員は、現時点では、2名で市内すべての小中学校をまんべんなく巡回するのではなく、ある程度効果があるように、学校を特定する考えです。学校図書館の運営は、本来は県費教職員の職務でもあり、今回の配置はその補助です。教員の配置は、学級編制により法令で定められていることから、人員増については、県や国に要望していきます。【回答:教育総務課】

No. 20

意見・質問・要望等 巡回用移動図書館「かしの木号」は、1台で、市内小中学校12校を巡回している。2～3台に増やして欲しい。【角田地区】

当日の回答 現在中学校には移動図書館は行っておりません。要望として受け取ります。

今後の取組み 回答のとおりです。移動図書館車「かしの木号」は、図書館から遠隔地に居住する子どもたちを対象に、小学校8校を基点として巡回しています。3000冊近くの本を積み、巡回数も年80回に上るなど学校図書館とともに子どもたちの読書活動の中心的役割を担っています。これまででも限られた資源を有効に活用すべく、現場の声を聞きながら運営にあたってきました。今後もこうした姿勢を基本に進めてまいります。【回答:生涯学習課】

No. 21

意見・質問・要望等 【郷土資料館の休館日について】
なぜ祝日が休みなのか。【角田地区】

当日の回答 郷土資料館の年間来場者数は3,001人、市内810人、市外2,191人と低い状況ですので郷土資料館の休館日については後日調査いたします。イベントで休日をはさむ場合は開館しています。

今後の取組み 休館日は月曜日(ただし月曜日が国民の祝日に関する法律に規定する休日に当たるときは、その翌日)、国民の祝日に関する法律に規定する休日、年末年始1月2日から1月4日まで及び12月28日から12月31日までとなっています。祝日休館については、少ない人員で管理運営を行っておりますので、ご理解いただきたいと存じます。【回答:生涯学習課】

No. 22

意見・質問・要望等 花いっぱい運動の目的は何か。毎年8月上旬に審査があるのでそれにあわせて栽培している。コンクールだけのためではなく、いつも花を植えていれば良いのに。年間を通してやれば良いのに、何を目指して花いっぱい運動をやっているのか。【枝野地区】

当日の回答 コンクールに必ず出なければならないというわけではないので、あまりコンクールにこだわらないこと。どうするかはグループで決めれば良いと思います。賞をもらうための花壇づくりではないという事を当局に伝えます。コンクール主催は、すばらしい角田を創る協議会で行っておりますが、こちらにもこのお話を通しておきます。

今後の取組み 回答のとおりですが、花のあるまちづくりは、人にも環境にもうるおいと安らぎを与え、豊かな心の醸成につながるものと存じます。コンクールは、すばらしい角田を創る協議会が主催し、その運動のきっかけづくりと技術の向上を目的に実施しているもので、審査にあたっては、年間を通じての活動も考慮しており、各団体で話し合い活動していただきたいと存じます。【回答:生涯学習課】